

# 情報公開文書

## 2018年4月から2023年3月までに京都大学医学部附属病院において 入院時嚥下スクリーニングを施行した患者さんへ

Ver 1.2  
2024/2/3

### 1. 研究の名称

入院時全例嚥下スクリーニングの窒息事故予防効果についての検討

### 2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

### 3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

1) 研究機関 京都大学医学部附属病院  
研究責任者 末廣 篤(京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 特定講師)

### 4. 研究の目的・意義

本研究の目的は、入院時全例嚥下スクリーニング開始から5年間の窒息事故予防効果について検討を行うことで、入院時全例嚥下スクリーニングの有効性を明らかにすることです。世界的にもこの規模で入院時全例嚥下スクリーニングを行っている施設はなく、今回の検討結果は他の施設にとっても有益な情報になると考えています。

### 5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から2025年3月31日まで

### 6. 対象となる試料・情報の取得期間

2018年4月1日から2023年3月31日までに京都大学医学部附属病院に新規入院した全ての入院時嚥下スクリーニングを受けた患者さんを対象とします。

### 7. 試料・情報の利用目的・利用方法

入院時全例嚥下スクリーニングの有効性を明らかにするため、患者さんのスクリーニング結果と窒息の有無を一覧表にし、統計解析を行います。

### 8. 利用または提供する試料・情報の項目

EAT-10、水飲みテストの点数、食事内容、リハビリテーション介入の有無、窒息事故の有無、年齢、性別、入院診療科、入院の理由となった疾患名、の情報を利用します。個人を特定できる項目は利用しません。

9. 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日から

10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

該当なし

11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

末廣 篤 (大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 特定講師)

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

14. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

研究に必要な資金は、京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科の運営費より支払われます。

2) 利益相反

全ての研究実施者において利益相反に該当する事項は一切ありません。利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 末廣篤

〒606 - 8507 京都市左京区聖護院川原町54

(Tel) 075 - 751 - 3346

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel)075-751-4748 (E-mail)ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp